

[報告事項]

1. 会務報告

全国保健所長会活動（平成19年度）

月	日	活動状況
4月	26日	東京地域ブロック総会
	〃	特別区部会総会
5月	14日	第1回60周年記念誌編集委員会
	15日	第1回理事会
	〃	第1回総務・渉外・学術・研修 担当理事会
	23日	近畿地域ブロック総会
	24日	東北地域ブロック総会
6月	7日	中国・四国地域ブロック総会
	29日	関東甲信静地域ブロック総会
7月	11日	「平成20年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」を提出
	12日	九州地域ブロック総会
	19日	北海道地域ブロック総会
	27日	東海北陸地域ブロック総会
	31日	第1回健康危機管理に関する委員会
8月	2日	第1回地域保健の充実強化に関する委員会
	8日	第64回 指定都市部会
	13日	第53回全国保健所長会長表彰選考委員会
	〃	次期全国保健所長会会長等選出に係る推薦委員会
	20日	第2回60周年記念誌編集委員会
	21日	第2回理事会
〃	第2回総務・研修 担当理事会	
9月		
10月	23日	60周年記念及び第64回総会、記念シンポジウム、記念講演会
	〃	政令市部会総会

全国保健所長会 役員名簿

会長 角野文彦（滋賀県・東近江）監事 阿部俊幸（新潟県・佐渡）
 副会長 伊藤善信（秋田県・秋田中央）総務" 井口ちよ（特別区・江東区）
 " 村主千明（特別区・新宿区）渉外・広報" 新田則之（島根県・松江）
 " 澁谷いづみ（愛知県・半田）学術・研修
 " 土井光徳（愛媛県・松山）* （19.7.23現在）

		理事		理事	担当	
北海道 1	廣田 洋子 (北海道・岩見沢)	/		廣田 洋子 菅沼 靖	総務 渉外	
東北 2	菅沼 靖 (宮城県・塩釜)	永井 伸彦 (秋田県・横手)	/		永井 伸彦 藤枝 隆	総務 学術
関東 甲信静 3	藤枝 隆 (茨城県・水戸)	藤木 哲郎 (千葉県・君津)	岡部 英男 (神奈川県・厚木)	藤木 哲郎 岡部 英男 佐藤 恭信	渉外 学術 研修	
東京 1	佐藤 恭信 (東京都・島しょ)	/		南 陸男 服部 悟	研修 渉外	
東海 北陸 2	南 陸男 (福井県・丹南)	服部 悟 (愛知県・豊川)	/		野尻 孝子 山田 全啓 丸山 保夫	学術 研修 研修
近畿 2	野尻 孝子 (和歌山県・御坊)	山田 全啓 (奈良県・郡山)	/		藤井 秀樹 平野 彰一	広報 総務
中・四国 2	丸山 保夫 (香川県・中讃)	藤井 秀樹 (鳥取県・米子)	/		土居 浩 櫻井 令子 南部由美子	総務 学術 総務
九州 2	土居 浩 (長崎県・中央)	平野 彰一 (福岡県・久留米)	/		伊地智昭浩 大森 治郎	渉外 総務
指定都市 2	南部由美子 (福岡市・東)	櫻井 令子 (名古屋市・中村)	/		中西 好子 (指名)	広報
政令市 2	伊地智昭浩 (兵庫県・姫路市)	大森 治郎 (神奈川県・横須賀市)	/		佐々木隆一郎 岸本 益実	学術 総務
特別区 1	中西 好子 (特別区・練馬区)	/		宇田 英典 山口 鶴子 大井 照	渉外 広報 研修	
指名理事 5	佐々木 隆一郎 (長野・飯田)	岸本 益実 (広島県・備北地域)	宇田 英典 (鹿児島県・鹿屋)	山口 鶴子 (特別区・板橋区)	大井 照 (特別区・千代田)	

注1) *平成19年度総会まで

注2) 理事の(指名)は会長指名、無印は地域ブロック及び部会選出の理事

注3) 担当の 印は常務理事、 印は副常務理事

担当理事会	総務担当	渉外担当	学術担当
顧問	伊藤 善信(秋田県秋田中央)	村主 千明(東京都新宿区)	澁谷 いづみ(愛知県半田)
常務理事	土居 浩(長崎県県央)	伊地智 昭浩(兵庫県姫路市)	佐々木隆一郎(長野県飯田)
副常務理事	岸本 益実(広島県備北地域)	宇田 英典(鹿児島県鹿屋)	櫻井 令子(名古屋市中村)
	廣田 洋子(北海道岩見沢)	藤木 哲郎(千葉県君津)	藤枝 隆(茨城県水戸)
	永井 伸彦(秋田県横手)	服部 悟(愛知県豊川)	野尻 孝子(和歌山県御坊)
	平野 彰一(福岡県久留米)	菅沼 靖(宮城県塩釜)	岡部 英男(神奈川県厚木)
	大森 治郎(神奈川県横須賀市)		
	南部 由美子(福岡市東)		

担当理事会	研修担当	広報担当
顧問	澁谷 いづみ(愛知県半田)	村主 千明(東京都新宿区)
常務理事	山田 全啓(奈良県郡山)	中西 好子(東京都練馬区)
副常務理事	大井 照(東京都千代田区)	山口 鶴子(東京都板橋区)
	南 陸男(福井県丹南)	藤井 秀樹(鳥取県米子)
	丸山 保夫(香川県中讃)	
	佐藤 恭信(東京都島しょ)	

2. 総務・渉外・学術・研修・広報担当報告

1) 総務担当報告

(1) 会員数(保健所数)について

平成18年度 536 平成19年度 518(4月1日現在)

(2) 名誉会員の承認について

澤 節子(前東京都墨田区保健所長)

眞田 英機(前長野県長野保健所長)

木村 眞理(前愛媛県今治保健所長)

(3) 第53回全国保健所長会長表彰の受賞者について

小泉 秀男(北海道深川保健所)他 57名(別添資料参照)

(4) 全国保健所長会60周年記念表彰

竹居田 和之(旭川市保健所)他 71名(別添資料参照)

2) 渉外担当報告

1. 渉外担当理事会

(ア) 渉外担当理事会は全体理事会日にあわせて開催し、その他随時メールで協議を行った。

2. 国への「平成20年度保健所行政の施策及び予算に関する要望書」作成と提出

(ア) 渉外担当理事会において、要望書作成方針案を検討し理事会の承認を得た上で要望書案を作成、会員への意見聴取及び理事会での検討を行い要望書を作成し厚生労働省へ提出した。

(イ) 要望書作成方針

基本的な作成方針は19年度要望書と同じとするが、大項目として医療制度改革関連時を追加する。

(ウ) 要望事項に対する国の対応についての検証

保健所長会の要望により当該事項が施策化・予算化したか等を直接判断することは困難であるが、要望事項に関連する国などの動向を整理し、会員へ情報提供することとした。

(ア) 19年度予算案から予算化された要望関連事項の整理

(イ) 現在進行中の国関連の検討会などから要望関連事項の抽出

(ウ) 現在進行中の地域総合推進事業、厚生科学研究などから要望関連事項の整理

3. 「感染症法政省令改正案」及び「新型インフルエンザに関するガイドライン案」に関する保健所長会意見のとりまとめと厚生労働省結核感染症課への提出

(ア) 感染症法政省令改正案関連：平成18年12月21日、平成19年2月1日

(イ) 新型インフルエンザに関するガイドライン案関連：平成19年2月23日

4. 保健師長会との合同連絡会議

(ア) 北川協会理事より保健所長会と保健師長会の連携について協議要請あり、今後の共同事業について協議(平成19年1月26日)

(イ) 定例の合同会議(平成18年5月13日、平成19年2月25日)

平成19年度の両会の国への要望に関する情報交換など

(ウ)(ア)の協議も踏まえ、昨年度からの地域保健総合推進事業(保健師長会協力事業)への参加に加え、全国所長会協力事業として両会合同で研究班事業を実施。「公衆衛生活動を活性化するための保健所長・保健所医師と保健所及び市町村保健センター保健師の協働のあり方」

3) 学術担当報告

(1) 財団法人日本公衆衛生協会委託の研究について

課題募集の変更:平成19年度地域保健総合推進事業の推薦に当って、今年度から保健所長会及び公衆衛生協会からの指定課題を設定し、一般課題と共に公募した。(医療制度改革、政令市の課題など)
その結果、応募26件があり、採択は以下の13件となった。

なお、平成20年度も同様の方針で公募予定。

地域連携クリティカルパスの普及・推進に関する研究

医療制度改革の推進に関する研究

専門性を確保した保健衛生行政の中での市型及び県型保健所のあり方についての検討

保健所支所問題に関する研究

公衆衛生活動を活性化するための保健所長・保健所医師と保健所及び市町村保健センター保健師の共同のあり方に関する研究

医療制度改革における生活習慣病対策に関する市区型と県型保健所の役割の検討

医療観察法と精神保健福祉法の運用に関する調査研究

医師臨床研修「地域保健・医療」の戦略的な方法の開発に関する研究事業

保健所における新型インフルエンザ対策のあり方研究事業

保健分野におけるIT技術の積極的活用に関する研究

地域医療連携体制の構築に関する研究

ケースメソッドやITを活用した情報共有推進による地域保健分野の人材育成・基盤づくり事業

老人保健福祉施設の感染管理に対する立入指導等に関する研究

(2) 全国調査等の協力依頼状況について

- 平成19年度厚生労働省科学研究費補助金(地域健康危機管理研究事業)「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価に関する研究」班
- 平成19年度厚生労働省科学研究費補助金(地域健康危機管理研究事業)「健康危機管理発生から原因特定に至る初動時の個人情報利用保護に関する研究」班
- 平成19年度厚生労働省科学研究費補助金(地域健康危機管理研究事業)「屋

内ラドンによる健康影響評価および対策に関する研究」班

- ・平成19年度厚生労働科学研究費補助金（地域健康危機管理研究事業）「シックハウス症候群の実態解明及び具体的対応方策に関する研究」班

4) 研修担当報告

(1) 平成19年度医療制度改革地域保健研修関係

日本公衆衛生協会及び全国保健所長会が主催する医療制度改革地域保健研修会が全国8ブロックにおいて下記日程で開催され、保健所長等が医療計画改訂をはじめ医療連携体制構築、また新たに導入される特定健診等生活習慣病対策における保健所の役割についてグループワーク形式で研修した。

ブロック	開催日	総参加人数
北海道	5月17日～18日	47
東北	5月24日	27
関東甲信静	6月29日	33
東京	4月26日	46
東海・北陸	7月27日	68
近畿	5月23日	57
中四国	6月7日～8日	26
九州	6月29日	53
合計		357

(2) 平成19年度全国保健所長会研修会関係

平成19年5月15日 第1回研修担当理事会開催（東京）

平成19年度研修計画の開催日時、場所、テーマについて以下のとおり了承される。

- ・平成20年1月～2月頃、関西で開催する。
- ・健康格差をテーマとし、虐待、感染症、自殺、災害弱者、生活習慣病等保健所取り組み事例をもとに、保健所が今後これらの課題にどのように取り組んでいくかについて研修する。

平成19年8月21日 第2回研修担当理事会開催（東京）

平成19年度全国所長会研修会の企画案について検討した。

- ・メインテーマ：「健康格差社会と保健所に求められるもの」

その他として新型インフルエンザ対策、医療制度改革地域保健研修総括

- ・日時：平成20年1月31日（木）、2月1日（金）

- ・会場：京都市中京区間之町通竹屋町下る楠町 「こどもみらい館」

を確認し、今後、講演会、パネルディスカッションについてテーマに即した講師等の検討、交渉を具体的に進めることを了承される。

5) 広報担当報告

(1) 全国保健所長会ホームページの作成、管理及び運営に関すること

ホームページアドレス：<http://www.phcd.jp>

総会、理事会関連、研究事業、各地の会員の活動報告などを迅速かつ詳細に掲載することをこころがけ、ホームページの作成に当たっている。

全国の会員のご協力で、内容が充実し、会員外のアクセスも経年的に大きくなり、アクセスは、平成 19 年 9 月末で TOP ページが 266,000 を超えた。

ホームページのアクセス状況の概要：

平成 17 年 8 月末 ページ数 37 ファイル 月 TOP ページアクセス 777
月総アクセス 12,340 月実訪問者数 1,170

平成 17 年 9 月 ページ数 333 ファイル 月 TOP ページアクセス数 2,821
月総アクセス 74,894 月実訪問者数 1,821

平成 18 年 9 月 ページ数 501 ファイル 月 TOP ページアクセス数 4,941
月総アクセス 245,757 月実訪問者数 10,591

平成 19 年 9 月 ページ数 908 ファイル 月 TOP ページアクセス数 6,859
月総アクセス 410,819 月実訪問者数 20,115

平成 18 年 9 月から動画配信も行っている。

(保健所の誕生、うつ解説、新型インフル訓練)

平成 19 年 10 月ホームページの要領と転送量を増強し、かつリーズナブルな HP 契約に変更した。(従来 OCN メール&ウェブ 30(ディスク容量 60MB、基本データ転送容量 3GB 5,040 円/月)から OCN メール&ウェブスタンダード(ディスク 300MB、データ転送量 15GB 5,985 円/月)に変更)

(2) 公衆衛生情報誌への掲載に関すること、

「保健所長会から皆さんへ」と題し、隔月掲載した。

3. 委員会報告

1) 地域保健の充実強化に関する委員会

<委員会構成> 顧問 伊藤善信(秋田県中央) 村主千明(新宿区)

委員 廣田洋子(北海道岩見沢)(委員長) 田上豊資(高知県中央東福祉)(副委員長)
竹内徳男(北海道渡島) 山中朋子(青森県五所川原) 小谷尚克(福島県南会津)
大橋俊子(栃木県県北) 東海林文夫(葛飾区) 吉村伸子(渋谷区) 永井恵(豊島区池袋)
大森治郎(横須賀市) 大江浩(富山県新川厚生センター) 中川昭生(島根県益田)
岡紳爾(山口県宇部環境保健所) 宇田英典(鹿児島県鹿屋)

<委員会の位置づけ>

健康危機管理以外のタイムリーな地域保健の課題に取り組む。

必要に応じて全国の保健所や厚生労働省などに提言を行う。

第1回委員会報告

日時：平成19年8月2日13：30～16：00

場所：(財)日本公衆衛生協会 3階会議室

議題

1. 18年度の活動報告

- ・調査を行った3課題「保健所組織の動向の調査(政令市型保健所)」「地域保健・医療研修のアンケート」「喫煙対策行動宣言アンケート」について報告書を作成する。

2. 19年度の事業について

- ・保健所における医療安全指針等の作成について、緊急調査をした。
- ・継続事業について：「地域保健・医療」研修については、「地域保健総合推進事業」でテキストの見直し、ワークショップの開催などを予定している。
「喫煙対策行動宣言アンケート」については、毎年同じ調査を行うか検討すべきという意見も出たが、喫煙対策の必要性を喚起するため継続して調査を行う。
- ・17年度に保健所が取り組むべき課題を調査し「提言」をしているが、第一報で終わっているため、事業ごとの課題でなく横断的に見直す必要がある。
(「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の見直しの骨格を作り提言する。)
- ・「地域保健総合推進事業(医療制度改革推進班)」での検討を受け、地域医療連携以外の医療制度改革における保健所の役割を提言して行くこととする。

2) 健康危機管理に関する委員会

1. 委員会が担う役割

- (1) 地域健康危機管理研究事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討
- (2) 全国への情報発信
- (3) 健康危機管理に関する随時の課題に対する検討

2. 委員会構成

澁谷いづみ(顧問)、岸本 泰子(委員長)、高野 正子(副委員長)、
荒田 吉彦、石田久美子、岸本 益美、佐々木隆一郎、佐藤 恭信、永井 伸彦、
中島 守、中瀬 克己、松本 一年

3. 委員会等開催状況

(1) 第1回健康危機管理に関する委員会

日 時：平成19年7月31日

場 所：日本公衆衛生協会

出席者：顧問、委員長、副委員長ほか10名

内 容：

地域健康危機管理研究事業「健康危機管理体制の評価指標、効果の評価に関する研究」の事例収集体制検討班と意見交換
健康危機管理に関する委員会としての事業検討

4. 委員会としての事業について

(1) 地域健康危機管理研究事業その他の関連する事業と連動した健康危機管理に関する体制の検討

- ・ 地域健康危機管理研究事業の「事例収集体制検討班」が収集した事例が、保健所の健康危機管理に活用されるよう、本委員会と連動したシステムを確立する。
- ・ 今年度は「収集事例（昨年度のもの）」について、「詳細報告」を求めるかどうかの検討をし、保健医療科学院のH-CRISISへの搭載を依頼する。健康危機管理分野の分担を当委員会委員で行った。
- ・ 地域健康危機管理事業終了後、継続した事例収集・還元体制がとれるよう、次のようなサイクルを確立することが確認された。

具体的には、保健所長会として事例報告を依頼、保健所から事例をH-CRISISへ掲載、委員会で詳細事例を選定し報告を依頼、委員会で全体の評価を行う。

(2) 全国への情報発信

- ・ 前項の「詳細事例」等について、必要に応じ研修会、ホームページ等で紹介し保健所活動を支援する。
- ・ 重大な健康危機管理事例発生に際して、保健所へ速やかな情報提供を行う。

(3) 健康危機管理に関する随時の課題への対応

- ・ 保健所長会から代表参加している健康危機管理関連会議の報告を受け、随時課題を検討し対応する。

厚生労働科学審議会健康危機管理部会

日本公衆衛生学会感染症対策専門委員会

- ・ 公衆衛生上問題のある死体の取り扱いについて意見交換を開始し、問題意識を醸成する。

5. 今後の予定

- ・ 今年度は2回の会議開催予定（次回11月頃）
- ・ 必要に応じてメール会議の開催。
- ・ 突発事項は顧問、委員長、副委員長で協議。

3) 60周年記念誌編集委員会

60周年記念誌編集委員会は、全国保健所長会の動きと全国保健所長会が果たしてきた役割を検証するために記念誌を作成・編集することを目的に平成18年7月5日に立ち上がった。委員構成は総務担当副会長（委員長）、総務担当理事2名、渉外担当理事1名、学術担当理事1名、研修担当理事1名、広報担当理事1名の計7名である。

平成18年度は2回開催して記念誌の内容について検討した。装丁はA4版ハードカバー、構成は巻頭言と祝辞のあと、第1部「60周年記念式典状況報告」、第2部「研究事業の成果」、第3部「全国保健所長会の活動の歴史」、第4部「各保険所長会の変遷」、第5部「全国保健所長会の思い出」、「資料集」とすることとした。

平成19年度に入ってから委員회를2回開催した。

(1) 19年度第1回委員会の開催

日時：平成19年5月14日(月)14:00~17:00

場所：(財)日本公衆衛生協会3階会議室

(2)19年度第2回委員会の開催

日時：平成19年8月20日(月)14:00~17:00

場所：(財)日本公衆衛生協会5階役員室

祝辞等に関しては、会長の巻頭言、医政局長、健康局長、日本医師会長、WHO西アジア太平洋事務局長、全国衛生部長会会長、日本公衆衛生協会理事長は完了。第1部「60周年記念式典状況報告」は、渉外担当と地元愛媛県が協力しながら、写真も合わせて15ページ程度にまとめる。「第2部研究事業の成果」は概ね完成。「第3部全国保健所長会の活動の歴史」は、地域保健の動き、保健所の動き、全国保健長会の対応に分けて制作中。「第4部各保険所長会の変遷」は、8月末時点ですべての都道府県市区の原稿ができているが、微調整が必要。「第5部全国保健所長会の思い出」は、歴代会長3人、名誉会員9人、過去10年の事例6人分を集めたが、一部整理が必要、さらに原稿の上積みを期待。「資料集」は、歴代会長、名誉会員、総会資料、要望・陳情・決議、委員会活動(研修会)、各種表彰者氏名、役員名簿に分けて記載したが、第3部との調整を要する。

今後の予定は、11月末まで最終的な原稿の回収を行い、全国保健所長会HP上に掲載し、各所長から意見をもらった後、2回の校正を経て平成20年2月末には完成の上、全国の保健所、衛生主管部局に発送の予定である。

【議 事】

第 1 号議案 平成 1 8 年度事業報告（案）及び収入支出決算（案）について

（別添資料参照）

第 2 号議案 平成 1 9 年度収入支出補正予算（案）について

（別添資料参照）

第 3 号議案 平成 2 0 年度事業計画（案）及び収入支出予算（案）について

（別添資料参照）

第 4 号議案 役員改選について

(別添資料参照)

第 5 号議案 その他

地域ブロック活動

【北海道地域ブロック】

平成 19 年度第 1 回北海道保健所長会総会

- 1 日時 平成 19 年 7 月 19 日（木）午前 9：30～11：30
- 2 場所 北海道中小企業会館 2F 会議室
- 3 出席者 19 道立保健所長 1 政令市保健所長 計 20 名
（オブザーバー）保健福祉部技監
- 4 議題

（1）報告事項

平成 18 年度事業報告ならびに決算報告について

平成 18 年度監査報告

及び は拍手を持って承認された。

全国保健所長会第 1 回理事会報告

平成 18 年度叙勲及び表彰等の受賞状況について

（2）協議事項

平成 19 年度事業計画(案)及び予算(案)について

平成 18 年度事業計画では 60 周年事業として記念誌を作成する予定であったが、理事会で検討した結果、記念誌の作成は取りやめることになった。なお、60 周年記念事業として 19 年度は結核研修会を開催することで合意、事業計画及び予算案は承認された。

役員の補選

欠員となっていた会長に廣田所長（岩見沢）を、副会長に竹内所長（渡島）を選出。

全国保健所長会代議員補選

相田理事（倶知安）を選出

平成 19 年度第 1 回北海道保健所長会理事会

- 1 日時 平成 19 年 9 月 5 日（水） 午後 13:30～17:00
- 2 場所 KKR ホテル札幌 2F はまなす
- 3 出席者 9 道立保健所理事(政令市理事は欠席)
（オブザーバー）保健福祉部技監
- 4 保健福祉部連絡事項

・新しい医療計画について等、各課より連絡事項があり意見交換を行った。

5 議事

（1）報告事項

第 2 回全国保健所長会理事会について（会長より報告）

全国保健所長会表彰の推薦について（担当副会長）

各委員会からの報告について

（2）協議事項

各地域からの提案事項について

a. 感染症法における結核の入退院基準について（道北ブロック所長会）

b. 健康危機管理研修の報告について（担当副会長）

北海道保健所長会主催研修会の実施について（担当副会長）～11月10日札幌で
開催予定

その他

・地域保健の推進に関する委員会について～新たに委員長及び委員を指名

・医療安全管理指針について～倶知安保健所より情報提供あり

・保健所のあり方検討～保健福祉部の検討委員会に会長・副会長1名が参加予定

【東北地域ブロック】

1. 第1回理事会

日時：平成19年5月24日（木） 12:30～13:30

場所：青森市 青森グランドホテル

（1）「役員改選」について新役員決定

会 長 宮城県 塩釜保健所 菅沼 靖

副会長 秋田県 横手・湯沢保健所 永井伸彦

全国理事 宮城県 塩釜保健所 菅沼 靖

全国理事 秋田県 横手・湯沢保健所 永井伸彦

監 事 岩手県 花巻保健所 小泉 明

山形県 最上保健所 井瀨安雄

（2）全国保健所長会の動向について

仁平理事（青森県 八戸保健所）

2. 総 会

日時：平成19年5月24日（木） 13:40～14:20

場所：青森市 青森グランドホテル

（1）報告事項 役員改選について

・理事会で決定された役員改選について報告

（2）開催県の会員（秋田県 秋田中央・大仙保健所長）を議長に選出して議事が進められ、次の議案がいずれも原案通り承認された。

議事

平成18年度事業報告、収支決算について

平成19年度事業計画、収支予算（案）について

平成20年度理事会及び総会開催について

（3）情報交換（テーマ 医療制度改革、医療計画） 14:45～18:45

1）話題提供 医療制度改革に関する論点と私の取り組み

演者 高知県中央東福祉保健所長 田上豊資(30分)

2）話題提供 脳卒中地域連携クリティカルパスの作成と活用

演者 青森県五所川原保健所長 山中朋子(20分)

3) グループワーク 医療制度改革の中での保健所長の役割(60分)

4) 話題提供 医療計画本庁担当者の立場から

研修進行座長(10分)

5) 話題提供 各県における医療計画策定体制および進捗状況

演者 岩手県保健福祉企画室企画担当課長 野原 勝(15分)

6) 全体ディスカッション 保健所長とは (45分)

3. 地域保健研究会

日時：平成19年5月25日(金) 9:00~12:00

場所：青森市 青森グランドホテル

(1) 講演

「日本における自殺の現状と地域での取り組み」

講師 青森県立精神保健福祉センター所長 渡邊直樹氏

(2) シンポジウム「地域での自殺予防の取り組みから」

シンポジスト 小松真吾先生(秋田県 大仙保健所)

小泉 明先生(岩手県 花巻保健所)

佐々木綾子先生(新潟県 村上保健所)

坂東 毅彦先生(仙台市 宮城野保健所)

(3) 進行

基調講演とシンポジウムは仁平 将先生(青森県 八戸保健所)により進められた。

【関東甲信静地域ブロック】

1. 総会

日時：平成19年6月29日(金) 11:00~12:00

場所：神奈川県産業貿易センター 8階特別会議室 (神奈川県横浜市)

議長：関東甲信静地域ブロック長 岡部英男(神奈川県厚木保健所長)

出席者：33名 委任状：48名 総会は成立

議題など：

1) 関東甲信静ブロック保健所長会会則の改正について

2) 理事の選任について：

藤枝(茨城県)、藤木(千葉県)、岡部(神奈川県)が選任された。

3) 今年度から来年度にかけての本庁や保健所の組織再編について

4) 医療制度改革について：厚生労働省 前田光哉室長補佐

5) その他：次期開催県は茨城県

2. 研修会

日時：平成19年6月29日(金) 13:00~17:00

場所：神奈川県産業貿易センター 7階720会議室 (神奈川県横浜市)

出席者：保健所長 32 名及び本庁等関係者 3 名 合計 35 名

- 1) 挨拶：(財)日本公衆衛生協会 北川定兼理事長
- 2) 趣旨説明：全国保健所長会 澁谷いづみ副会長
- 3) 情報提供：

東京都における医療連携について

東京都医療政策部 吉田 勝副参事

神奈川県医療連携からみた広域首都圏医療連携について

神奈川県厚木保健所 岡部英男所長

- 4) グループワーク：4 グループで行った。各グループのテーマ。

グループ1「がん」「救急医療」、グループ2「脳卒中」「精神科疾患」、グループ3「心筋梗塞」「周産期医療」、グループ4「糖尿病」「特定健診・保健指導」をテーマに議論し課題と方策をまとめた。

事前に各所長等にはグループ分けとテーマを指定して伝え、それぞれの県や地域の課題とその方策をまとめて参加していただいた。このグループワークではそれらを発表していただき、各グループごとにまとめ、最後にパワーポイントで発表していただいた。

- 5) まとめ：関東甲信静ブロック長 岡部英男（神奈川県厚木保健所）

平成 19 年度医療制度改革地域保健研修アンケート調査票「関東甲信静ブロック研修会のグループワーク」で、その内容について報告した。

【東京地域ブロック】

会員数（特別区 23 人 東京都 7 人 八王子市 1 人）

1. 年次総会

- 1) 日時・会場：平成 19 年 4 月 26 日 東京厚生年金会館 葵
- 2) 出席者：出席 20 人 委任状 8 人
- 3) 議事
 - (1) 平成 18 年度事業報告 承認
 - (2) 平成 18 年度決算報告 承認
 - (3) 会計監査報告 承認
 - (4) 平成 19 年度事業計画（案） 承認
 - (5) 平成 19 年度予算案 承認
 - (6) 会則変更：八王子市が保健所政令市になったことに伴う改正 承認
 - (7) 役員選出
会長、副会長等前年度に引き続き。
庶務担当幹事：斎藤（町田）、会計：百済に変更
 - (8) 転入会員の紹介
佐藤 恭信 島しよ保健所長
中村 清純 品川区保健所長
 - (9) 専門部会報告

総合部会 精神・難病部会 母子保健部会 感染症部会
生活衛生部会 成人保健・健康づくり部会
(10) 専門部会委員選出 部会長選出

2. 懇親会

日時：平成 19 年 5 月 17 日（木） 午後 7 時より 9 時まで

場所：小田急ホテルセンチュリーサザンタワー

出席者：都庁保健福祉局事務系幹 4 名、都庁等現職医系幹部職員 8 名

退職保健所長（石田東生前台東保健所長欠、

北島和子前練馬区保健所長、岡崎卓見島しょ保健所）2 名

現職保健所長 22 名 計 36 名

3. 医療制度改革地域保健研修

主催者：公衆衛生協会理事長 北川定謙 保健所長会副会長 澁谷いずみ

研修総括：中西好子（練馬区）、浦山京子（中野区）

1) 日時・会場：平成 19 年 4 月 26 日 東京厚生年金会館 葵

2) 出席者：出席：保健所長 29 名 その他医師ほか 16 名 計 45 名

3) 内容

講義「医療制度改革における保健所の担うべき役割」厚生労働省 岡本浩二

事例提供 1 「杉並区ウエストサイズ物語」渡邊洋子

事例提供 2 「脳卒中医療連携地域連携クリニカルパス作成への取組」西多摩 HC 石井直美

事例提供 3 「地域連携クリティカルパスの開発による女性の健康支援」板橋区山口鶴子

講義「医療制度改革と医療費適正化計画」日本医大教授 長谷川敏彦

話題提供「医療制度改革と東京都の取り組み」東京都医療政策部長 細川えみ子

グループワーク・発表「医療制度改革で保健所に期待される役割」

4. 講演会

(1) 日程と内容 平成 19 年 8 月 28 日（火）

講演内容「東京都児童相談所の現状と課題～保健所との連携を含めて～」

講師 杉並児童相談所長 田城 利明氏

保健所と児童相談所長とで意見交換

(2) 出席者：保健所長 21 人 その他医師ほか 14 人、児童相談所側 6 人 計 41 人

東京都保健所長会

4 月 1 1 日

局長挨拶 幹部職員紹介 所長会メンバー自己紹介

東京都結核予防推進プランの策定について、平成 19 年度精神障害者退院促進事業につ

いて

その他 6 項目について報告、検討

年度始めにあたり都保健所長会会長、庶務、会計を互選、各種委員会、協議会等の役割分担を確認

5月9日

東京都保健医療計画第四次改定の考え方について、ウィルス肝炎受領促進集中戦略

その他 4 項目について報告、検討

6月6日

都立学校における麻疹対策について、医療法改正に伴う医療機能情報の公表制度

その他 11 項目について報告、検討

第 2 部で東京都保健医療計画について意見交換

7月4日

東京都の自殺予防総合対策の取り組み

その他 2 項目について報告、検討

第 2 部で医療安全支援センターの現状報告及び各保健所での取り組みについて意見交換

その他 8 項目について報告、検討

9月5日

東京都健康推進プラン 2 1 の改定概要について、有床診療所の立入調査について

その他 11 項目について報告、検討

第 2 部で大気汚染医療費助成検討委員会の概要

その他 1 項目について報告、検討

【東海北陸地域ブロック】

1. 第 1 回役員会

日 時 平成 1 9 年 5 月 2 5 日 (金) 1 3 : 3 0 ~ 1 6 : 4 0

場 所 石川県庁 1 1 階 1 1 0 6 会議室

議 題

(1) 平成 1 9 年度東海北陸ブロック保健所長会役員改選について

(2) 平成 1 9 年度東海北陸ブロック保健所長会総会について

ア 日時 平成 1 9 年 7 月 2 7 日 (金) 1 1 : 1 5 ~ 1 2 : 0 0

イ 議事

ア) 平成 1 9 年度東海北陸ブロック保健所長会役員 (案) について

イ) 平成 1 8 年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について

ウ) 平成 1 9 年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画 (案) について

エ) 全国保健所長会理事会の報告について

オ) その他

(3) 全国保健所長会理事会の報告について

(4) 地域保健研修について

ア 日時 平成19年7月27日(金) 13:30~17:30

イ 内容

ア) 各県からの現状報告

イ) 実践報告

ウ) グループディスカッション

エ) 講演

(5) その他

ア 感染症法の結核の取り扱いについて

イ 中核市への保健所業務の委託について

ウ 結核患者の移送について

エ 支所の見直しについて

オ 保健所の外部業務委託の状況について

2. 第2回役員会

日時 平成19年7月27日(金) 11:15~12:00

場所 金沢都ホテル 5階 朱鷺

議題

(1) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会総会・研修会について

(2) その他

3. 総会

日時 平成19年7月27日(金) 12:15~13:00

場所 金沢都ホテル 7階 鳳凰

議題

(1) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会役員(案)について

(2) 平成18年度東海北陸ブロック保健所長会事業報告について

(3) 平成19年度東海北陸ブロック保健所長会事業計画(案)について

(4) 全国保健所長会理事会の報告について

(5) その他

4. 医療制度改革地域保健研修

日時 平成19年7月27日(金) 13:30~17:30

場所 金沢都ホテル 7階 鳳凰

内容

(1) 話題提供

各県からの現状報告

各県の会長(代理)から説明

(2) 研究班調査結果概要説明

「地域保健の充実強化班 医療制度改革緊急アピール及び地方分権班

調査結果」

富山県新川厚生センター長 大江 浩 氏

(3) 実践報告

ア 「仙南地区における在宅ホスピスケア推進事業の取り組み」

宮城県仙南保健所長 高橋 達也 氏

イ 「地域ケア整備構想・モデルプラン(原案)(概要版)」

北海道室蘭保健所長 荒田 吉彦 氏

(4) グループディスカッション

話題提供を踏まえて、医療計画、医療連携体制、地域ケア体制の整備における保健所の役割と課題についてグループで討議し、発表

(5) 講演

「医療構造改革について ～地域保健行政において保健所が担う役割～」

厚生労働省大臣官房参事官 岡本 浩二 氏

(6) 講評

【近畿地域ブロック】

1. 第59回近畿保健所長会総会

日時：平成19年5月23日(水) 10:00～11:40

場所：大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町 8-2-6

総会内容

(1) 表彰

(平成18年5月18日開催の第45回日本公衆衛生学会近畿地方会演題より選考)

(207) 「ALS患者・家族交流会」5年間の取り組みから見えてきたもの

(京都府中丹東保健所)

高橋美詠子、宮本ちひろ、堀口由緒

四宮裕美子、高橋彰、中村泰三

(607) ヒスタミンによる食中毒事例について

(兵庫県加古川健康福祉事務所)

栗田礼子、野田文子、松村益代

山口幹子、竹内能理子、川村隆

(801) 女性健康診査事業からみた若い女性の食生活に関する検討

～学校敷地内禁煙実施に向けた保健所の役割について～

(京都市保健所、京都市衛生公害研究所)

京都市保健所栄養士及び京都市衛生公害研究所研究グループ

(2) 提案議題

感染症法改正後の保健所の対応

出題者：大阪市保健所

各保健所からの事前アンケートを行い、意見交換を行った。

参考：平成19年度 地域保健総合推進事業 「医療制度改革地域保健研修」

日時：平成19年5月23日(水) 11:45～17:30

場所：大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町 8-2-6

主催：財団法人日本公衆衛生協会(全国保健所長会)

内容：医療制度改革に関する講演、グループワークを取り入れた研修、
先進地域の事例紹介を行い、保健所の役割を確認した。

【中国・四国地域ブロック】

1. 平成19年度中四国ブロック保健所会総会

日時：平成19年6月7日(木) 13:00～14:10

場所：山口市 地方職員共済組合湯田保養所 翠山荘 2F カトレア

参加者：22名 (会員数65名)

会長挨拶 香川県中讃保健所長

来賓挨拶 山口県健康福祉部長

自己紹介

議事(1) 平成18年度事業報告について

(2) 平成18年度収支決算について

(3) 平成19年度事業計画(案)について

(4) 平成19年度収支予算(案)について

(5) 規約改正(案)について

以上について、すべて承認された。

(6) 推薦委員会委員の選出について

(7) 次期開催県挨拶(愛媛県)

2. 平成19年度保健所長研修(中四国ブロック)

日時：平成19年6月7日(木) 14:20～18:30

8日(金) 9:00～12:00

場所：山口市 翠山荘

プログラム

平成19年6月7日(木)

14:20～主催者挨拶 日本公衆衛生協会理事長

研修趣旨説明 全国保健所長会 会長

14:40～話題提供 テーマ 新しい医療計画における医療連携体制の構築を如何に行うか
(各県の取り組み方法)

話題提供者 山口県健康福祉部医務保険課医療企画班企画監

高知県中央東福祉保健所長、鳥取県鳥取保健所長

15:30～グループワーク

- 17:00～講演 厚生労働省大臣官房参事官 岡本浩二
「地域保健行政における今日的課題～保健所が担うべき役割」
17:30～講演者との意見交換会

平成19年6月8日(金)

- 9:00～話題提供 テーマ 4疾患の医療連携事例
話題提供者 島根県浜田保健所長(糖尿病)、青森県五所川原保健所長(脳卒中)、鳥取
県米子保健所長(糖尿病)
9:40～グループワーク
11:10～2日間の研修会のまとめ(意見交換)
11:50～アンケート記入後解散

【九州地域ブロック】

九州ブロック総会・理事会・研修会等

1. 第1回理事会(大分県)

- (1)日時 平成19年7月12日(木)12:00～13:30
(2)場所 ホテル白菊(別府市)
(3)出席者 理事10名(全員)、監事1名、事務局4名 計15名
(4)協議内容

1)報告事項

九州ブロック会長、副会長、全国理事

- ・18年度と同じ体制であることを報告。
- ・九州ブロック役員：土居会長(長崎県)、南部副会長(福岡市)
全国役員：土居理事(会長充て職)、平野理事(福岡県)
各県会長の改選に伴う理事の変更
- ・佐賀県 古川理事、熊本県 河津理事、鹿児島県 園田理事
監事の就任状況
- ・任期2年間、同時期の総会開催地の県保健所長会長が、当該会員の中から推薦し決定。18年
4月1日から、福岡県・大分県の各1名が監事に就任。

2)議題

平成18年度事業報告及び決算、監事の監査報告

- ・事業は、理事会(2回、福岡県・長崎県)、総会・意見交換会・研修会(福岡県)を実施した。
平成19年度事業計画及び予算
- ・事業は、理事会(2回、大分県・福岡市)、総会・意見交換会・研修会(大分県)を実施計画。
、 のいずれも、原案どおり承認され、総会に諮ることにした。

各県・市の提出議題について

- ・各県・市から提出された議題(11件)を、総会で意見交換していくことでした。

次期の会長・副会長・全国理事について

- ・次期の会長は土居長崎県会長、副会長は南部福岡市会長、全国理事は古川佐賀県会長(平野福岡県会長は全国保健所長会の副会長へ就任)を選任し、総会に諮ることにした。

次期総会および理事会の開催地について

- ・20年度第1回理事会・総会の開催地の決定
開催地佐賀県予定を了承・決定され、総会に諮ることにした。
- ・20年度第2回理事会開催地の決定
開催地熊本県予定を了承・決定され、総会に諮ることにした。
- ・21年度開催地について
ローテーション表に基づき、開催地を予定(総会等は宮崎県、第2回理事会は沖縄県)していくことでした。総会に諮ることにした。
- ・19年度第2回理事会は、福岡市が当番として平成20年1月24日(木)に既に決定していることを報告。

2. 総会(大分県)

(1)日時 平成19年7月12日(木)14:00~17:00

(2)場所 ホテル白菊(別府市)

(3)出席者 会員30名、来賓1名、事務局4名 計35名

来賓 大分県医師会長

(4)協議内容

1)報告事項

19年度役員体制の報告

- ・九州ブロック会長、副会長、全国理事
- ・各県会長の改選に伴う理事の変更
- ・監事の就任状況

2)議題

平成18年度事業報告及び決算、監事の監査報告

平成19年度事業計画及び予算

、いずれも理事会での説明と同じ、原案どおり承認された。

各県・市の提出議題について

各県・市が抱える課題・問題点について、11件の議題が提出されており、出席者全員での協議がなされた。

- ・保健所検査業務の民間委託について(福岡県)
- ・麻疹対策について(福岡市)
- ・医療法改正に伴い義務付けされた医療安全に関する措置の診療所への指導・啓発状況について(北九州市)
- ・予防接種ワクチンの自治体単位の備蓄について(長崎県)

- ・特定健康診査及び特定保健指導について（長崎県）
- ・「メディカルエステ」と称する店舗の医療指導上の取り扱いについて（長崎県）
- ・保健所管内での新型インフルエンザ対策の進捗状況について（熊本県）
- ・健康危機管理対応を含む企画調整部門の役割について（大分県）
- ・麻疹の全数把握体制について（大分県）
- ・ノロウイルスをふまえた食中毒調査マニュアル等の見直しについて（鹿児島県）
- ・麻疹の発生時における対応について（沖縄県）

次期の会長・副会長・全国理事について

- ・次期の会長は土居長崎県会長、副会長は南部福岡市会長、全国理事は古川佐賀県会長が承認された。

次期総会および理事会の開催地について

- ・20年度第1回理事会・総会の開催地の決定（佐賀県）
- ・20年度第2回理事会開催地の決定（熊本県）
- ・21年度の理事会・総会等の予定（宮崎県、沖縄県）
- ・19年度第2回理事会の開催について（福岡市）

いずれも、理事会での協議どおりで承認された。

3. 研修会

(1)日 時 平成19年7月13日(金) 9:30~12:30

(2)場 所 ホテル白菊(別府市)

(3)出席者 105名(保健所長32名、保健所・市町村等職員73名)

(4)内容等

- ・大分県福祉保健部長の挨拶
- ・報告

報告者 宮崎県高鍋保健所長 瀧口 俊一

「宮崎県における高病原性鳥インフルエンザ対策」

- ・講演

講師 国立感染症研究所 岡田 晴恵

「地方自治体におけるH5N1新型インフルエンザ対策」

4. 意見交換会(12日、総会に引き続き開催)

大分県健康対策課長、別府市医師会長等の出席があり、総数32名で意見交換会が開催され、各保健所や所長職の抱える問題点について、情報交換を行った。

【指定都市部会】

今年度より、新たに新潟市と浜松市が参加し、17都市、59保健所となり、合計すると日本国民の約1/4を管轄することになります。

8月8日、午後2時から第64回全国保健所長会指定都市支部会が北九州市ホテルクラウンパレス小倉で開催されました。参加者は保健所長21名と事務局など数名で、会員が増え

たためか活気ある中で始まりました。

会議は催都市の挨拶にはじまり指定都市部会会長・副会長の選出があり、会長：南部（福岡市）、副会長：櫻井（名古屋市）が選出されました。その後出席者の自己紹介があり議題に移りました。

議題 1 診療所における医療安全管理の指針など作成義務化について

（提案市 仙台市）

医療法の改正により、病院、診療所又は助産所の管理者は医療安全を確保するための指針の策定及び従事者への研修が義務づけられましたが、この徹底に関して工夫・問題点を議論しました。例えば医療器具の安全管理についてメーカーにより医療機関へ伝えることが異なり検討、統一の必要性も言われました。

議題 2 結核の新感染症法への対応について

（提案市 名古屋市、北九州市）

改正法 37 条については 1 カ月ごと診査するようになっているが直近の菌検査の情報が得にくくどんな工夫ができるかなど議論しましたが、どこも大変そうでした。又クオオンティフェロンの導入については、予算化されているところも多く今後の効果的な活用が期待されます。

承り事項 7 項目については若干の質問があり、後は資料参照となりました

- 1 . 医療観察法に係わる司法機関からの照会に対する情報提供について
- 2 . 精神保健福祉地域ネットワーク会議（関係機関連絡会）について
- 3 . エイズ・STD 対策の取り組み状況について
- 4 . 遊泳用プールの指導について
- 5 . 医療制度改革に伴う特定検診・特定保健指導について
- 6 . 介護予防事業の進捗状況について
- 7 . 平成 20 年度からのがん検診について

18 時半から 2 時間ほど意見交換会を行い、翌日は施設見学を行いました。最初に福祉用具プラザ北九州を見学し、町工場の多い北九州市ならではの利用者の要望を反映した福祉用具の開発を見学しました。その後、北九州市立大学ひびきのキャンパスに行き北九州市立大学国際環境工学部櫻井和朗教授による医学と工学を結びつけた最新の研究の講話を受講し、アカデミックな雰囲気の中で解散となりました。来年は福岡市で開催される予定です。

【特別区部会】

（会員数 特別区 23 人）

1 . 年次総会

- 1) 日時・会場：平成 19 年 4 月 26 日 東京厚生年金会館 葵
- 2) 出席者：出席 10 人 委任状 8 人
- 3) 議事
 - (1) 平成 18 年度事業報告 承認
 - (2) 平成 19 年度事業計画（案）承認

(3) 役員選出

第1ブロック：大井（千代田）、第2ブロック：大黒（文京）、第3ブロック：三好（大田）、第4ブロック：中西（練馬）、第5ブロック：井口（江東区）

2. 定例会

定例開催：特別区保健衛生主管部長会終了後

開催日：4/5、5/10、6/7、7/5、9/6

医師臨床研修平成20年度実施分の病院からの受付：5月締め切り

特別区内の47病院、418名の研修医の受入れ希望があり23区保健所に配分調整

特別区全体の調整案 19/7/5 提示 19/9/6 最終決定

5月10日

- ・東京都各種審議会等委員選出
- ・全国保健所長会名誉会員の推薦 元墨田区保健所長 澤節子
会長賞推薦 三井公夫（板橋区）、多田久子（足立区）

- ・麻疹の流行に関する情報の情報交換

9月6日

- ・東京高裁和解を受けた大気汚染医療費助成制度について特別区での取扱い（協議）
- ・妊婦健診公費負担制度拡大実施に向けた検討 23区標準方式について検討する
- ・中越沖地震保健師派遣（都区合同派遣）報告

7月25日から7月30日 世田谷区保健師2名

7月30日から8月4日 足立区保健師2名

8月4日から8月9日 豊島区保健師2名

8月9日から8月14日 大田区保健師2名

8月14日から8月19日 練馬区保健師2名

各定例会で委員会代表委員報告

東京都保健医療計画推進協議会 代表委員報告（台東 永見）

東京都医療費適正化検討会 代表委員報告（練馬 中西）

東京都がん対策推進協議会 代表委員報告（中央 大倉）

東京都地域医療対策協議会 代表委員報告（千代田 大井）

【政令市部会】

部会会員

- ・平成19年9月末現在、中核市35、政令市8市で、保健所は各市1保健所

活動報告

- ・平成18年度全国保健所長会政令市部会総会

- 平成18年10月23日、富山全日空ホテル
- 28市28保健所出席
- 議題

◇ 政令市保健所職員に適した事業企画に関する研修について

◇ 障害者自立支援法関連事業（精神）、介護保険関連事業、健診・保健指導関連事業における保健所の役割について

- ◇ 部会役員交代、会則変更について
- ・平成19年度全国保健所長会政令市部会総会開催予定
 - 平成19年10月22日、松山全日空ホテル
 - 議題予定
 - ◇ 麻しん、日本脳炎など予防接種に関する国への要望
 - ◇ QFT検査の実施状況など

その他

- ・部会会員名簿作成